

## 岸壁の老朽化対策により、海上交通機能を確保する

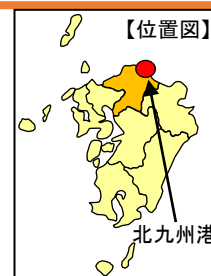
## 【対策】87 港湾における老朽化対策

対策概要：予防保全型維持管理の実現に向けた老朽化対策を推進し、平時・災害時の海上交通ネットワークの維持、港湾施設の安全な利用等を確保する。

府省庁名：国土交通省

## 【事例】北九州港予防保全事業

- 実施主体：国土交通省 九州地方整備局
- 実施場所：福岡県北九州市
- 事業概要：北九州港響灘東地区の岸壁（水深10m）は、築造後40年以上経過しており、老朽化によるエプロンのクラックや沈下による水たまりが発生し、平時・災害時ともに船荷の揚げ降ろしを行う荷役場所が制限されていた。エプロンのクラックや沈下を解消するべく、上部工や舗装工等の老朽化対策を実施。
- 事業費：約12.5億円  
（うち5か年加速化対策（加速化・深化分）約2.5億円）
- 効果：岸壁（水深10m）の上部工や舗装工等の老朽化対策を完了したことで、当該岸壁の機能を回復させ、**港湾の安全な利用が確保された**。エプロンの沈下による水たまり等が発生し、その場所は荷役が出来ないため荷役場所の制限をかけ、また、制限区域をダンプトラック等が迂回する必要があり荷役場所の制限による非効率な荷役となっていたが、制限を解消することによって、当該岸壁の取扱貨物量が対策前と対策後で約48%増加した。



整備前

エプロンのクラック状況



エプロンの沈下状況



整備後

エプロンのクラック、沈下回復状況

